ICTサポータの活用事例

Benesse

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-3	国語	日本の言語文化「故事成語・慣用句」	プレゼンテーションソフト

授業内容

故事成語・慣用句の意味を知り、どのような場面で使う言葉か考えて紹介しよう

準備：

・各グループが調べる「故事成語・慣用句」をいくつか選んでおく。
・ワークシート用ファイルを準備する。
・ワークシート用ファイルは、班の数分用意して配付し、各グループのメンバーが共同編集できるようにする。

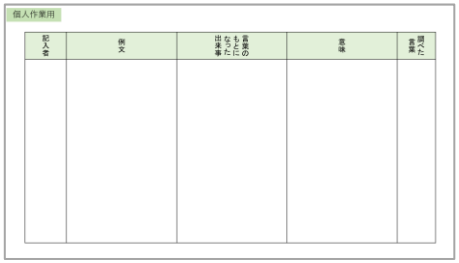
授業の流れ：

1. 各グループで調べる「故事成語・慣用句」を決める。
2. 「個人作業用」ワークシートを開き、グループ内の人数分コピーして、グループで決めた「故事成語・慣用句」について、まず個人で意味や、元になった出来事を調べて入力する。
3. 「グループ発表用」ワークシートを開き、個人で調べた内容を共有しながら、どのような場面でその言葉を使うのかを考え、グループ内で例文を1つ作成する。
4. 例文をもとに、その言葉を使う場面を、動画を使って紹介できるように、シナリオや役割を決めて実演し、動画を撮影する。撮影した動画をワークシートに挿入する。
5. 各グループで作成したワークシートと動画で発表を行い、クラス全体で視聴する。
6. 最後に、各グループの発表内容等を参考にして、個人で「故事成語・慣用句」を使った例文を考え、「個人作業用」ワークシートに入力して先生に提出する。

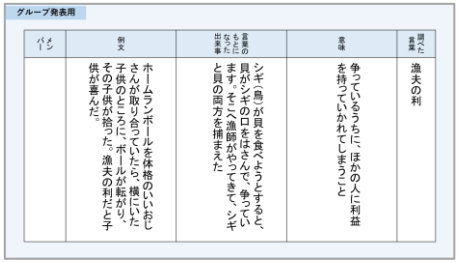
サポータおすすめポイント

- 故事成語・慣用句の意味を調べるだけでなく、活用場面や例文を考えて、さらに表現することで、その言葉をより深く理解することができます。
- 他のグループの発表を視聴することで、より多くの言葉や活用例を身につけることができます。
- 動画以外にも、4コマ漫画等、表現の方法から子供たちで考えてもよいでしょう。

「個人作業用」ワークシート



「グループ発表用」ワークシート（入力例）



イラスト出典：いらすとや　https://www.irasutoya.com/